

# 花で四季を楽しませ んか

ご家庭の庭や鉢植えで楽しめる花を、栽培ポイントとあわせてご紹介いたします。季節ごとにちがった花を栽培して、四季を楽しみましょう。

|                  | 1月   | 2月 | 3月  | 4月  | 5月 | 6月  | 7月  | 8月  | 9月 | 10月 | 11月    | 12月 |
|------------------|------|----|-----|-----|----|-----|-----|-----|----|-----|--------|-----|
| キンギョソウ           | 春まき  |    | 種まき |     | 定植 | 開花期 |     |     |    |     |        |     |
| リアトリス            |      |    |     |     |    |     | 開花期 |     |    |     | 株分け、植付 |     |
| ヒヤクニチソウ<br>(ジニア) |      |    |     | 種まき | 定植 | 開花期 |     |     |    |     |        |     |
| ハボタン             | 鑑賞期間 |    |     |     |    |     |     | 種まき |    | 定植  |        |     |

図：今回紹介する花きの栽培暦

## ① キンギョソウ

品種がバラエティーに富んでおり、金魚のような愛らしい花型で人気があります。

### 【栽培のポイント】

- ① 種は鉢にばらまき、水は鉢底から種子が細かいので、ピートモスやバーミキュライトを用土とし、その上に種をばらまきます。水は鉢底から与え、発芽までの間は、土壌を乾燥させないようにしましょう。また、キンギョソウの種子は、発芽に光を必要とするので、覆土はしないようにしましょう。
- ② 仮植えと定植  
発芽後、本葉が1〜2枚出てきたら、平箱の中に4〜5cm間隔で移植しましょう(仮植え)。その後本葉が6〜8枚になったら、花壇やプランターに定植しましょう。

## ② リアトリス

主に夏に花を咲かせる球根植物で、切り花としても楽しめます。寒さに強く、戸外で越冬します。

### 【栽培のポイント】

- ① 2〜3年に1回植え替え  
リアトリスは生育旺盛で、株の芽数が増えやすく、長期間据え置くと白絹病が発生しやすくなるので、2〜3年に1回、株分けを兼ねて植え替えましょう。※連作は避けましょう。
- ② 日当たりを好む  
日光不足では、徒長し、花つきが悪くなります。日当たりのよい場所に植えましょう。
- ③ 支柱を立てる  
草丈が1m以上となり、倒れやすいため、支柱をしましょう。

## ③ ヒヤクニチソウ (ジニア)

暑さと日照に強く、切り花、花壇、プランター用と用途別に多くの系統や品種があります。

### 【栽培のポイント】

- ① 追肥は定期的  
開花期が長いいため、月に一度、化成肥料か液肥を2〜3回与えましょう。
- ② 切戻しが大事  
咲き終わった花を摘み取ったあとは、切戻しを行います。花をつけた枝のつけ根から1〜2節を残し、それより上部の枝を切り取ります。上部で切ると、出てくるわき芽が弱く、よい花を咲かせることができませぬ。

## ④ ハボタン

ハボタンは、冬の寒さで中心部の葉が白やピンクに色づきます。

最近では改良によって、おしゃれなイメージが定着し、冬の花壇の定番となっています。

### 【栽培のポイント】

- ① 種まきは夏  
ハボタンは秋の低温で発色するので、種まきは7〜8月に行います。しかし、高温では発芽不良となるため、日陰や涼しい屋内で種をまくなどの温度管理が必要です。
- ② 肥料は残さない  
気温が下がる10月下旬から色づき始めますが、その頃に肥料が残っていると、着色部に緑が残り、きれいに色がつきません。9月末以降は肥料をやりすぎないようにしましょう。



ハボタン



キンギョソウ